

奏

六年 筆順 奏 奏 奏
かなじでる

成り立方



両手に「玉串」(神前に供える物)を捧げもつ形を表した「奏」と、「天」という字を組み合わせて作った字です。「天の神に捧げる(奉つる)」ことを表した字です。天の子である天子に「申し上げる」という意味に使います。【例奏上、上奏、奏請】

「天の神に音楽を捧げる」ことから、「音楽を」かなでる」という意味に使われるようになりました。【例演奏、独奏、合奏、伴奏、吹奏】
また、「奏功(成功を天に申し上げる)」という使い方から「成しとげる」意味に使われます。

使い方

▼わたしは昨日はじめて演奏会に行きました。有名な管弦楽団が、わたしの好きな『フィンランディア』を演奏しました。レコードやテープで聴くのと違って、とても迫力がありました。また、演奏会に行きたいと思えます。

▼ぼくたちのクラスでは、学芸会にブラスバンドの合奏をすることになりました。「マンボ・ナンバーファイブ」を合奏するのです。むずかしいけれど、楽しい曲なので、みんなでいっしょうけんめい練習しています。

熟語例

- ▼奏上(天子に申し上げること。)
- ▼上奏(「奏上」と同じ意味です。)
- ▼奏請(奏上して、お許しを請うこと。)
- ▼演奏(音楽を奏でること。)
- ▼独奏(独りで演奏すること。)
- ▼合奏(みんなで一緒に演奏すること。)
- ▼伴奏(独奏する人に伴って演奏すること。)
- ▼吹奏(管楽器を吹いて演奏すること。)
- ▼奏功(うまく仕事を成しとげ、功績をたてること。)

窓

六年 筆順 窓 窓 窓
まど

成り立方



「穴(年870)」の意味の「宀」と、「総(年769)」の発音を示す「窓」とを組み合わせて作った字です。昔の家では、光や風を家の中に入れるために、かべに「穴」を空けました。この「穴」のことを「まど」と言います。中国では「窓」と言いましたので、「穴」という字に「窓」を加えて「窓」という字にしたものです。

〔正字は「窗」で、窓の形を象った「囪」と「穴」との会意・形声字である。総の本字である「總」の「恩」から、「窓」が俗字として使われるようになったため、「窓」という俗字が作られたものである。〕

使い方

▼卒業式に「蛍の光、窓の雪」を歌いました。昔、中国で、貧しいため明かりをとすことができないので、夏は蛍の明かりで、冬は窓の雪明かりで本を読んだ人があったそうです。ぼくもがんばらなければと思います。

熟語例

- ▼車窓(車の窓という意味で、汽車や電車の窓のことを言います。)
- ▼窓前(窓の前。家の窓の外で、窓に近い所。【例窓前の桐の木】)
- ▼学窓(学校のことです。)
- ▼同窓(同じ学窓、という意味のことばです。同じ学校を卒業した人のことを「同窓生」と言います。)
- ▼同窓会(同じ学校を卒業した人たちで組織されている会。どこの学校にもある会です。)
- ▼深窓(りっぱな家の奥まった部屋のことです。【例深窓の令嬢(大事に育てられて、実社会との接触の少ないお嬢さんのこと。)]